「体験活動を通じて、よりよい人間関係を築こう」当日の実施計画（例）

１　当日のスケジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 内　　容 | 会　場 |
| ８：５０～　９：１０  【２０分】 | 〇はじまりの会（生徒主体、先生方の指導）  　・活動の趣旨や内容について説明する。（職員） | 体育館等 |
| ９：１０～　９：４０  【３０分】 | 〇予め決定したグループに分かれる。  〇ビーイングについて説明（職員）  　・グループごとに目標と約束を設定する。  〇グループ活動の内容や場所の確認を指示し、移動を  　開始する。（職員） |
| ９：５０～１０：０５  【１５分】 | 〇野外炊事の方法について説明（職員） | 校庭 |
| １０：０５～１２：１５  【１３０分】 | 〇野外炊事体験  　・薪を組んで火付け体験  　・鍋を使った炊事体験 |
| １２：１５～１２：３５  【２０分】 | 〇ビーイングによる振り返り①  ※午後の活動について説明 | 体育館等 |
| １２：４０～１３：４０  【６０分】 | 〇給食、昼休憩 |  |
| １３：４５～１４：１５  【３０分】 | 人間関係づくりプロクラム  〇グループ活動Ⅰ  　活動【２５分】　　移動・休憩【５分】 | いくつかの場所に分かれて活動  ※プラザ職員が  指導するグルー  プと、学校の先  生方に指導して  いただくグルー  プをつくってもよい。 |
| １４：１５～１４：４５  【３０分】 | 〇グループ活動Ⅱ  　活動【２５分】　　移動・休憩【５分】 |
| １４：４５～１５：１５  【３０分】 | 〇グループ活動Ⅲ  　活動【２５分】　　移動・休憩【５分】 |
| １５：１５～１５：３５  【２０分】 | 〇ビーイングによる振り返り②  〇おわりの会（生徒主体、先生方の指導） | 体育館等 |

※野外炊事体験と人間関係づくりプログラムの順序を変えて実施することも可能

２　野外炊事体験

　・学年全体を１班につき７～８名程度で編成する。

　・班ごとの役割分担は、３～４名程度が炊飯の準備をする「食事係」、他の３～４名程度がかまどを

　　準備する「かまど係」とする。（食事係の生徒にも、火の管理は体験させる）

　・片付けの時間を短縮するとともに、災害時などにも応用できるよう、鍋とザルと耐熱性ポリ袋を活用

　　した湯煎による炊飯をする。

３　人間関係づくりプログラム

（１）アクティビティのメニューおよび分担

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| アクティビティ名 | 活動場所 | 担当者 | 準備するもの |
| ア　マシュマロリバー | 体育館（前側） | プラザ職員１ | スポットシート |
| イ　パイプライン | 体育館（後側） | ○○先生 | パイプ、ボール |
| ウ　フラフープリレー、  　　ヘリウムフープ | 柔道場 | プラザ職員２ | フラフープ、  たすき |

（２）クラス・班別

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | １～４班 | ５～８班 | ９～１２班 |
| グループ活動Ⅰ  １３：４５～１４：１５ | ア  プラザ職員１ | イ  ○○先生 | ウ  プラザ職員２ |
| グループ活動Ⅱ  １４：１５～１４：４５ | ウ  プラザ職員２ | ア  プラザ職員１ | イ  ○○先生 |
| グループ活動Ⅲ  １４：４５～１５：１５ | イ  ○○先生 | ウ  プラザ職員２ | ア  プラザ職員１ |